



宇都宮ロータリークラブ会報

- 宇都宮ロータリークラブ 会長 町田卓大・幹事 大矢裕啓
テーマ「ロータリーの『縁』(えにし) ～ロータリーを成長させよう～」
 - 国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マロニー
テーマ「ロータリーは世界をつなぐ」
 - 国際ロータリー 第2550地区 2019～2020年度ガバナー 川嶋幸雄
テーマ「ロータリーは世界をつなぐ」
- 例会日/火曜日 12:30 会場/宇都宮東武ホテルグランデ 宇都宮市本町 5-12
事務所/宇都宮市江野町 1-12 栃木実業ビル2F TEL 028-666-0555
E-mail u-rc01@silver.plala.or.jp FAX 028-666-0333

(2020年) 令和2年1月21日 2019～2020年度 No 25 (第3319回会報)

会員数 108名 出席者数 61名 出席率 62.9%

ビジター紹介 (親睦活動委員会 北上和博委員)

粕谷明弘様 鈴木義忠様 鈴木秀明様 (宇都宮 90 ロータリークラブ)

会長挨拶 (町田卓大会長)

今年度、例会の挨拶 23 回して参りました。他のクラブでは「何を話しても良いけれど、最後はロータリーの話をするよう」と言われているそうです。中々話すのも大変です。議事録に載らない話は、沢山あります。箱根駅伝等の話は沢山あります。箱根駅伝の応援団として、4年間応援致しました。とても人には言えないような話も有りますので、皆さんどうしても聞きたい方はテーブルミーティングに誘って頂ければと思います。本日は、IM の件で宇都宮 90 ロータリークラブより 3 名の方に起こし頂いております。IM のご参加を宜しくお願い致します。

2020-2021 年度の地区委員の委嘱状が届いております。近藤隆亮会員へ諮問委員・運営委員、印出井敏英会員へ第3グループ A ガバナー補佐、阿部欣文会員へ財団補助金委員、旭野好紀会員へ RYLA 委員、秋本薫会員へ社会奉仕委員、善林隆充会長エレクトへ国際奉仕員、熊本勇治会員へ青少年交換委員、酒井誠会員へロータリー米山記念奨学会選考委員、大矢裕啓幹事へ国際奉仕委員、岡崎善胤会員へ RLI DL 委員です。

IM 実行委員会 実行委員長 粕谷明弘様

副委員長 鈴木義忠様 鈴木秀明様



皆さん、こんにちは。IM のキャラバンにお伺い致しました。ホストクラブを務めます宇都宮 90 ロータリークラブ IM 実行委員長を務めます粕谷です。実行副委員長を務めます鈴木、同じく鈴木でございます。開催場は、宇都宮東部ホテル・グランデ 6 階、時間は 15 時受付、15 時 30 分点鐘です。今年度の内容は、第一部として日本独自の奉仕活動である米山奨学会の生みの親で 2 万人の外国人奨学生を支援し栃木が生んだ偉人「古澤丈作」氏にスポットをあて、古澤丈作氏研究の第一人者栃木西ロータリークラブの石崎常蔵様から古澤氏の足跡・業績のご講演を頂きます。古澤丈作氏は、栃木市西方出身で、東京ロータリークラブの会長も務めました。ロータリークラブの会員として奉仕活動に取り組みました。その最大の功績が、外国留学生の奨学金制度を設立し提唱したことです。それが現在の米山奨学会です。先に、石崎常蔵様より古澤丈作氏に関する資料を各クラブにお配りしたいと連絡が有りましたので、お持ち致しました。IM の際

には、是非その資料をお持ち頂ければと思います。第2部としまして、第3グループ各会長による生涯一度の会長時に、ご自身のロータリー感をスピーチして頂きます。町田会長、宜しくお願い致します。その後は、着席にてロータリアン同志の親睦懇親を深めて頂きたいと思います。ソプラノ歌手の鎌田亮子さん、ピアノ奏者の坪山恵子さんのプログラムを準備しております。1人でも多くのロータリアンの方の参加をお待ちしております。私事ですが、私の父は宇都宮ロータリークラブに50年近く在籍をしておりまして、3年前に88歳で他界しました。父の在籍中は、大変御世話になりました。この場をおかりして、御礼を申しあげます。貴重なお時間を有り難うございました。

親睦活動委員会（小島克之委員長）

先日は、夜間例会及び新年会にご参加を頂きまして有り難うございました。親睦活動委員会の目玉企画を考えております。3月8日（日）、ウエストサイドストーリーの観劇ツアーを企画しております。今回は、会員の皆様とご家族の方にもご一緒に楽しんで頂こうと考えております。宇都宮駅に集合、豊洲で昼食後、観劇、その後銀座シックス最上階のレストランでお食事会を予定しております。詳細は、明日皆様にファックスにてご連絡をさせていただきます。以上です。

ニコニコボックス委員会（荒井規雄副委員長）

誕生祝：秋本薫会員

結婚祝：矢嶋昭司会員

快出席祝：藤澤智会員

配偶者誕生祝：増田仲夫会員

粕谷明弘様（宇都宮90ロータリークラブ）

：宇都宮90ロータリークラブよりIMのキャラバンに参りました。貴重なお時間を有り難うございます。2月20日のIMには、是非ご参加を宜しくお願い致します。

ロータリー財団委員会（飯村悟委員長）

本日から受付で、寄付金のお預かりを致します。米山への寄付も一緒にお受け致しますので、お声を掛けて頂ければと思います。先程会長より次年度地区への財団及び米山奨学会選考委員の出向委嘱状が渡されておりますので、是非とも宜しくお願い致します。本日は31名の方から、ご寄付をお預かり致しました。領収書は、後日皆様のお手元に届くと思います。宜しくお願い致します。

プログラム紹介（プログラム委員会 伊原修委員長）

本日は、会員卓話です。菊野利幸会員です。ご出身は大阪府で現職は、みずほ証券(株)宇都宮支店支店長様です。1990年同志社大学経済学部ご卒業後、同年和光証券（現 みずほ証券）に入社されまして営業企画、営業推進を歴任されまして、前任は横浜西口支店長、2018年より現職に至っております。演題は「金融教育について」です。宜しくお願い致します。

卓話「金融教育について」

みずほ証券(株)宇都宮支店 支店長 菊野利幸 様

皆様、こんにちは。卓話の機会を頂きまして有り難うございます。本日はプログラム委員長より「新春なので、マーケットの相場説明でも？」と云う言葉を頂いたのですが、「金融教育について」というテーマでお話をさせていただきます。会員の皆様は、基本的に私の話の内容全てご存じと思いますが、是非、社員様の教育・ご親族・学校教育等に参考にして頂ければと思います。

先ず、学校向けと社会人向けの金融教育について、お話をさせていただきます。当社が取り組んでいる教育活動は、小学生から社会人・高齢者まで幅広い時代のプラン・資産形成等に関する意識向上のために、教育支援に積極的に取り組んでおります。近年、老後の備えに不安が高まっており、お金の事を学びたいというニーズが増えております。2,000万円不足問題という報道があって、更に依頼が増加しております。写真でご説明をいたします。こちらは栃木県の公立中学校での授業風景です。お金の授業に加えて、生徒数が減少している地域なので、地域振興も視野に入れて地元農産物の輸出状況を地域にしながらグローバルに物事を考える授業を行なっております。次は、企業自治体向けの事例です。写真は、企業自治体職員向け業務時間中の研修です。ライフプラン将来の備えの為の資産形成を学んで頂く為に行なっております。講義中は、みずほ証券の金融勧誘等、当社の宣伝は一切しておりません。本日は学校における金融教育と社会事務系の金融教育の必要性の2点について、ご紹介します。学校における金融教育、国内では金融庁・文科省等関係省庁・団体就業者が金融経済の推進体制を構築しております。国をあげて取組もうとしております。我々の監督、金融庁だけでは有りません。既に金融教育の必要性が高まっていることから、新しい学習要項に踏み込んだ内容が盛り込まれております。中学校の学習要項、社会の科目で2021年度実施予定ですが、経済活動・企業などを支える金融活動の教科を取り扱う事になっております。高校では、公民科と云う教科を2022年実施予定で必須科目になります。キャッシュレス社会の振興・資産運用・リスク等を学というようなカリキュラムになっております。これまで、学校でお金について学ぶ事は避けられてきました。どのような職業であっても、大切な金融を学ぶことは必要だと我々は考えております。世間一般には、主権者教育とか環境教育等、増え続けております。社会が変わっていく為に、お金に関する知識は誰にとっても必要と考えております。お金について学ぶ事は、様々な教育につながります。お金に関するトラブル・消費者教育は、未成年の頃からしっかりやる、ライフプランを意識して今何をするかを考える、実社会とのつながりを意識する、この様な事が様々な教育につながります。省庁や業界団体が、それぞれ教育支援に取り組んでいます。我々みずほ証券としまして、各学校団体等に事業努力をしております。我々証券団体が出張授業を行なっても、基本的には限界があります。当社は、学校の先生方がお金について少しでも教えて頂ける様活動しております。1つの事例ですが、みずほ証券と早稲田大学 教職大学院の取組みとして、教員の養成支援研究を行なっております。金融教育から、学校現場で先生が教えられることが出来ないかと教育養成支援研究を開始致しました。当社の教育支援部署で、参加者早稲田大学教授・教職大学院生等が参加をしております。教職大学院というのは、教育免許を持っていないと入れない専門職大学院という事です。この研究に院生は自主的に参加しておりますが、単位は取れません。どのような院生が参加をしているかといいますと、中学の社会科授業に必須になると云いましたが社会科の先生だけではありません。国語・英語・保健体育と様々な教職院生が取り組んでおります。学校現場の教員の方々に感想を聞きました。1つめは、これまで学習をする事の無かった分野で、生徒達に学習をさせる必要があると気づくことが出来ました。キャリア教育として進路や働く事等を中心に行なってきましたが、お金は全て共通に必要なという意識に欠けていたと思えました。2つめに、トラブルから身を守る事、投資と投機の違いを生徒達に教えることが出来ました。私は1990年に入社しましたが、最近迄「株屋、株屋」と言われてきました。私は「投資とギャンブル」と「投機と投資」は、違うと考えております。3つめは、学校の授業によって対応が様々ですが、学習指導要綱に新たに記述されているので、これからの金融経済・投資教育待ったなしで課題の解決が出来ると考えましたと。この様な意見を頂きました。



動は、小学生から社会人・高齢者まで幅広い時代のプラン・資産形成等に関する意識向上のために、教育支援に積極的に取り組んでおります。近年、老後の備えに不安が高まっており、お金の事を学びたいというニーズが増えております。2,000万円不足問題という報道があって、更に依頼が増加しております。写真でご説明をいたします。こちらは栃木県の公立中学校での授業風景です。お金の授業に加えて、生徒数が減少している地域なので、地域振興も視野に入れて地元農産物の輸出状況を地域にしながらグローバルに物事を考える授業を行なっております。次は、企業自治体向けの事例です。写真は、企業自治体職員向け業務時間中の研修です。ライフプラン将来の備えの為の資産形成を学んで頂く為に行なっております。講義中は、みずほ証券の金融勧誘等、当社の宣伝は一切しておりません。本日は学校における金融教育と社会事務系の金融教育の必要性の2点について、ご紹介します。学校における金融教育、国内では金融庁・文科省等関係省庁・団体就業者が金融経済の推進体制を構築しております。国をあげて取組もうとしております。我々の監督、金融庁だけでは有りません。既に金融教育の必要性が高まっていることから、新しい学習要項に踏み込んだ内容が盛り込まれております。中学校の学習要項、社会の科目で2021年度実施予定ですが、経済活動・企業などを支える金融活動の教科を取り扱う事になっております。高校では、公民科と云う教科を2022年実施予定で必須科目になります。キャッシュレス社会の振興・資産運用・リスク等を学というようなカリキュラムになっております。これまで、学校でお金について学ぶ事は避けられてきました。どのような職業であっても、大切な金融を学ぶことは必要だと我々は考えております。世間一般には、主権者教育とか環境教育等、増え続けております。社会が変わっていく為に、お金に関する知識は誰にとっても必要と考えております。お金について学ぶ事は、様々な教育につながります。お金に関するトラブル・消費者教育は、未成年の頃からしっかりやる、ライフプランを意識して今何をするかを考える、実社会とのつながりを意識する、この様な事が様々な教育につながります。省庁や業界団体が、それぞれ教育支援に取り組んでいます。我々みずほ証券としまして、各学校団体等に事業努力をしております。我々証券団体が出張授業を行なっても、基本的には限界があります。当社は、学校の先生方がお金について少しでも教えて頂ける様活動しております。1つの事例ですが、みずほ証券と早稲田大学 教職大学院の取組みとして、教員の養成支援研究を行なっております。金融教育から、学校現場で先生が教えられることが出来ないかと教育養成支援研究を開始致しました。当社の教育支援部署で、参加者早稲田大学教授・教職大学院生等が参加をしております。教職大学院というのは、教育免許を持っていないと入れない専門職大学院という事です。この研究に院生は自主的に参加しておりますが、単位は取れません。どのような院生が参加をしているかといいますと、中学の社会科授業に必須になると云いましたが社会科の先生だけではありません。国語・英語・保健体育と様々な教職院生が取り組んでおります。学校現場の教員の方々に感想を聞きました。1つめは、これまで学習をする事の無かった分野で、生徒達に学習をさせる必要があると気づくことが出来ました。キャリア教育として進路や働く事等を中心に行なってきましたが、お金は全て共通に必要なという意識に欠けていたと思えました。2つめに、トラブルから身を守る事、投資と投機の違いを生徒達に教えることが出来ました。私は1990年に入社しましたが、最近迄「株屋、株屋」と言われてきました。私は「投資とギャンブル」と「投機と投資」は、違うと考えております。3つめは、学校の授業によって対応が様々ですが、学習指導要綱に新たに記述されているので、これからの金融経済・投資教育待ったなしで課題の解決が出来ると考えましたと。この様な意見を頂きました。

次に、社会人向けの金融についてお話を致します。事業会社が、今後社員教育の中で「金融機関の中で出来れば」という立案で、お聞き頂ければと思います。人生100年時代です。お金との付き合い方は、以前と全く異なってきました。1つは、高齢化によりリタイア後の生活が長い事です。2つめは、年金等の

次に、社会人向けの金融についてお話を致します。事業会社が、今後社員教育の中で「金融機関の中で出来れば」という立案で、お聞き頂ければと思います。人生100年時代です。お金との付き合い方は、以前と全く異なってきました。1つは、高齢化によりリタイア後の生活が長い事です。2つめは、年金等の

社会保障への不安が拡大してきています。3つめは、低金利が継続しています。この3つが、お金との付き合い方を変える大きな要因と考えています。平均寿命男性約81歳、女性は約87歳です。平均余命男性は84歳、女性は89歳です。長生きは大変喜ばしい事ですが、その分お金が必要になってきます。年金ありますが大丈夫でしょうか？高齢者の社会保障を支える現役世代の人数は、2000年当時3.6人で高齢者1人を支えていました。2025年には1.8人で1人、2060年には約1人で1人を支える時代になると思われます。更に今後負担は増えてゆきます。年金支給年齢の引き上げ、自己負担割合の引き上げ、介護サービスの自己負担の引き上げ等になります。この図は、老後2,000万円不足という記事が出た内容です。2つの、メガタンクがあります。左が1ヶ月の収入、右が支出です。1ヶ月平均約5.5万円不足すると報道されました。これは、総務省の家計調査です。高齢世帯の無職世帯の平均支出、収入に基づいています。あくまでも平均です。5.5万円×12ヶ月が30年間と計算しますと、約2,000万円となります。この2,000万円が報道されました。金融庁の報告書をよく見ますと、大事な点が書かれています。介護費用や住宅リフォーム等、特別な支出は含まれておりません。早い時期から将来のライフマネープランを検討し、老後の資産取得・取り崩し等具体的なシミュレーションを行う事が重要です。仮にお金を増やしたいと現在の金利状況を見ますと、1990年私が入社した当時定期預金の利率が6.08%でした。お金を2倍にする為には、6.08%で運用すると約12年間かかりました。2019年定期預金金利は0.01%、更にマイナス金利が拡大するかも知れない現状では、2倍にする為には7200年かかります。貯蓄から投資も必要だと、低金利下では預けるだけでは増えづらく投資が必要だという事です。従来、資産形成の中心は貯蓄が基本でした。近年、貯蓄だけでは資産を増やすことが難しい時代です。国として自らの責任で資産形成を行う、資産形成制度というものを拡充しつつあります。各制度が導入された年月日に注目して下さい。最近、拡充されています。これは、税制上優遇されている制度です。消費税は上がっていますが、投資に関する資産形成の税政は、優遇されています。これは自助努力による資産形成を、後押ししています。残念ですが、殆どの方がこの制度の事を知ら無い事が現状です。年金の運用を見えます。年金は殆ど投資によって運用されています。国内の株式・海外の株式に50%、アメリカドル債券・アメリカの外貨債券に18%の配分になっております。資産の7割近くが株式や債券のリスクを取った運用を行なっています。公的資金の運用です。2001年度から約18年、運用資産額は累計で66兆円の収益を得て160兆円になっています。年換算でいいますと、3%の年金利がついています。非常に大きいと考えています。ですが、現代では不安だとの声が大半です。何故投資家の方達が不安だと思うのか？お話をいたします。未経験者の方に投資は必要ですか？と聞きますと、投資は必要で無いと答えた人は83%、投資は必要と答えた人は17%です。投資の必要は無いと答えた人の60%は、興味が無い。投資の知識が無いが30%です。その他、お金が無いです。2割未満の方しか、ライフプランは、立てていないです。7割の人が、生活の支えは年金と考えています。これが現状です。資産形成を導入されていない企業さんで「若年層の離職者多く出た、制度を導入するのは難しいが国の制度・積立NISA等を個人で活用出来る教育だけは行なっていきたい」という声がありました。資産制度を導入されている企業さんに聞きますと「資産形成の重要性は、分からない。せつかく制度の活用があっても、分からない。進まない。確定拠出年金の運用をするも、その運用の中身が低金利の元本確保型商品の選択しかなく、投資商品の選択が少なく不満」があるようです。制度の説明以前に、資産形成の必要性、基礎知識の説明が必要との多くの声がありました。これからの長い人生、お金の必要性の理解はしているものの金融詐欺が増えており、身を守る知識・スキルは必要です。若年層・シニアに関わらず、お金に関する知識判断力を習得する必要性はあります。みずほ証券が企業向け金融教育メニューをご紹介します。1つは若手社員向け、2つめはミドル又は全世代社員向け、3つめシニア世代向けの内容です。若手社員向けは、これからのお金の管理と資産形成について60分から90分の講義をさせていただきます。対象は新入社員・30歳前後の社員です。ライフイベントを考え、これからのお金の使い方を学びます。お金を蓄える・スキルを向上させる・借金に注意す

る・お金を管理する等の内容です。シニア世代につきましては、詐欺に対する具体例を挙げて説明をさせて頂きます。プロ集団が運用する投資商品で利益を上げる、ある事例を挙げ説明をさせて頂きます。金融詐欺に合わないよう、セミナーでお話をさせて頂きます。以上当証券の取組みについて、ご紹介させて頂きました。御清聴有り難うございました。

【今日の食事】



カレーライス

サラダ

香の物

1月21日（火）会員卓話「金融教育について」

菊野利幸会員

みずほ証券(株) 宇都宮支店長

1月28日（火）特別休会

会報担当：柴田 彰夫 会員

画像担当：渡邊 肇 会員